

東京都地域持続化事業
武蔵野エリア販路開拓事業2025

製造業／ 新技術 & 事業方針 合同記者発表会

日 時 令和7年12月2日(火) 14:00
場 所 宮地楽器ホール 小ホール

武蔵野商工会議所工業部会
三鷹商工会工業部会
小金井市商工会工業部会



主催者：武蔵野エリア販路開拓事業実行委員会

令和 7 年度
製造業／新技術＆事業方針合同記者発表会

次第

日時：令和 7 年 12 月 2 日(火)14:00～16:30

場所：小金井宮地楽器ホール 小ホール

1. 開会 14:00

2. 主催者からのご挨拶

3. 専門家(コーディネーター)からのご挨拶

4. 第 1 部【記者発表会】14:10～(各社 7 分程度)

有限会社藤電設工業

クマセイサク合同会社

株式会社インテリジェンス・ワークス

株式会社フライト

山城製作所

渡辺紙器工業株式会社

株式会社立川建築設計事務所

集合写真撮影

5. 第 2 部【展示発表会】15:30～

取材・インタビュー

6. 閉会 16:30

武蔵野エリア販路開拓事業2025実行委員会

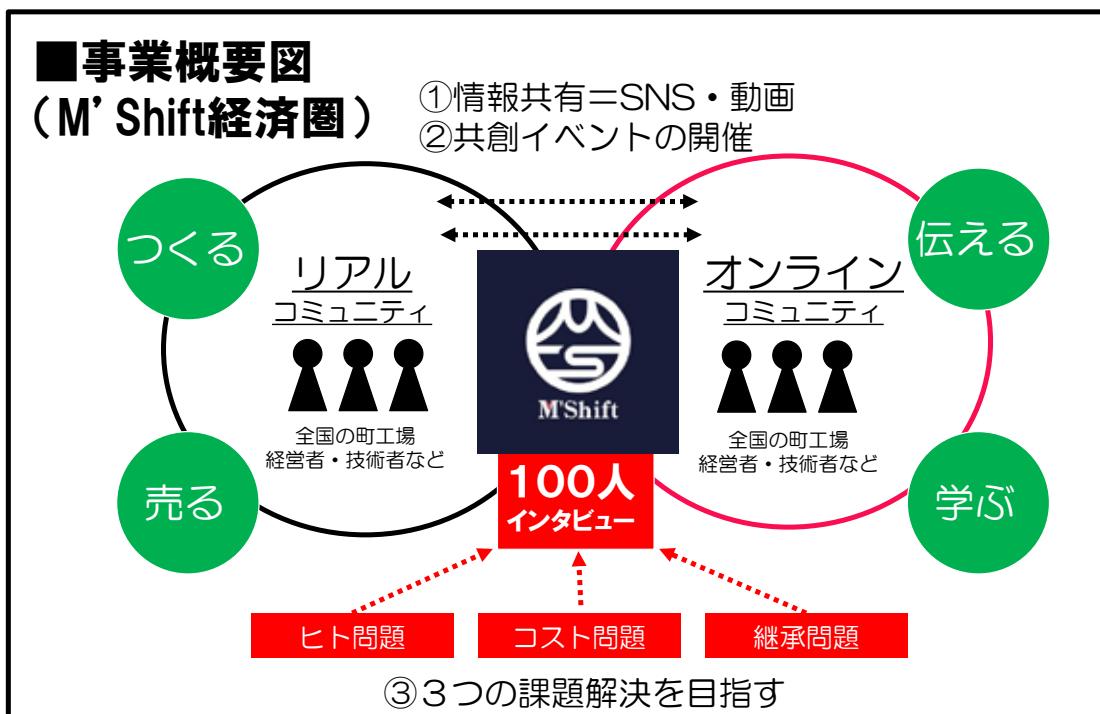
「製造業／新技術＆事業方針合同記者発表会」参加企業

No.	事業所名・発表内容
1	<p>有限会社藤電設工業 SDGs9 番推進宣言「未来の子供たちに、誇れるモノづくりを」 共創型プロジェクト「M' Shift(エム・シフト)」来年2月3日(火)スタート 町工場におけるヒト・コスト・継承問題に真正面から挑む情報共有コミュニティ</p>
2	<p>クマセイサク合同会社 レコード専用収納 SSS(トリプルエス)BOX シリーズにインテリア性の高い新色を追加 「SSSオールホワイト」12月4日(木)新発売 EP サイズ(7インチ)と LP サイズ(12インチ)と2種類を同時発売致します</p>
3	<p>株式会社インテリジエンス・ワークス IT を DIY 感覚で自作の IoT システムを創ることが可能 日本語入力プラットホーム「IW-Station」全国展開へ 「情報部品 SEED」を組み合わせるだけで、誰もがやりたいことができる</p>
4	<p>株式会社フライト 【特許取得】無人航空機による点検情報提供システム 「UAV による点検情報提供システム」(フライト仕様) 車載型ドローン基地として複数で映像共有する作業空間を提供</p>
5	<p>山城製作所 図面ゼロ、設計から製作まで一貫対応の金属加工サービス 「設計と加工の一括窓口」12月3日(水)スタート 設計・加工の現場を熟知した職人が構想段階から提案します！</p>
6	<p>渡辺紙器工業株式会社 ダンボールで広がる夢と創造の世界、触れて、組んで、驚きの体験を！ 「ダンボール夢の研究所」1月23日(金)開設 産学連携を推進し、ダンボールの魅力を体験できるイベントを開催</p>
7	<p>株式会社立川建築設計事務所 ジョイント T ロック機構を考案！2人で30分で組立完了 災害用簡易トイレ「プラダンハウス」(特許取得済) 学校や自治体の備蓄に最適、軽くて丈夫、長期保存も可能</p>

SDGs9 番推進宣言「未来の子供たちに、誇れるモノづくりを」

共創型プロジェクト「M' Shift(エム・シフト)」来年2月3日スタート

町工場におけるヒト・コスト・継承問題に真正面から挑む情報共有コミュニティ



1.【自社の強み】

東京都小平市で 1970 年から配電盤や筐体製品の製造を行っている有限会社藤電設工業(代表取締役:高橋 翼 たかはし つばさ)と申します。現在は溶接技術を主軸に、設計・加工・組立・品質保証を一貫して行う体制を確立し、「モノづくりを通して人々の笑顔と仲間の輪を造る」という経営理念のもと事業を行っており、単なる板金加工に留まらず、「シートメタル & サービス(SHEET METAL & SERVICE)」というコンセプトのもと、お客様との共同開発・設計支援・加工・組立・仕上げ・納品までワンストップで提供する体制を整えています。特に、配電盤や制御盤の筐体は精密な板金・溶接・組立の技術が求められ、同社では加工データ10万件以上、出荷件数20万件以上といった累積実績を掲げています。従業員数は約 19 名(2025年時点)と小規模ながら、設備・技術革新、組織改善に注力し、

地域の「頼れる町工場」として社員とお客様の幸せを追求しています。

また、当社では発信メディア(オウンドメディア)があり町工場におけるモノ作りに関する情報発信を行っており、初月で約2万人の方が視聴してくれています。



2.【世の中の課題と新たな取組み】

最新の企業データベース(※注1)によると、2025年7月時点で「町工場」は、全国で約18,270社とされています。町工場は、若手不足や価値観の多様化による現場力低下、価格競争や物価高で適正利益確保が困難なコスト問題、そして技術や志を次世代に伝えられない継承問題という三つの大きな課題に直面しており、持続的成長には人材育成・収益構造改善・技術継承の取り組みが不可欠です。

そこで、この度、弊社がこの問題を解決すべく、全国の町工場におけるヒト・コスト・継承問題に真正面から挑む情報共有コミュニティ、共創型プロジェクト「M'Shift(エム・シフト)」を2026年2月3日(火)からスタート致します。また、同時にこの事業を機にSDGs9番「産業と技術革新の基盤をつくろう」にも取り組んで参ります。

(※注1)出典:企業データベース「Akala DB」における従業員数100人未満、資本金1億円未満、工業製品を製造する法人数

3.【顧客ターゲット】「全国のモノづくり業界に従事する関係者全て」

詳細⇒経営者／工場長／現場リーダー／設計・資材・品質／若手・技能者／学校・行政・支援機関の方など

4.【コンセプト】「価値」×「サービス(プロジェクト)」

詳細⇒町工場がヒト・コスト・継承問題に真正面から挑む情報発信コミュニティ。M'Shift(エム・シフト)とは、M=モノづくり Shift=次世代へつないでいく

5.【リリースのポイント】 M' Shift プロジェクトとは

<活動目的>

- 1.情報発信 × コミュニティ × 共創で業界を横断的につなぐ。
- 2.現場・経営・教育・行政が垣根を越えて共感でつながる。
- 3.一人では越えられない壁を仲間の力で乗り越える。

<3つの課題解決>

「ヒト問題」

- ・採用導線の再設計(工場ツアー型／魅せる現場)
- ・教育の仕組み化(助成金活用／DX カリキュラム／月例レビュー)
- ・組織文化の定着(対話・イベント設計／メンター制)

「コスト問題」

- ・最適品質の導入(安さより適正へ)
- ・原価と工程の見える化(ボトルネック特定／前倒し設計)
- ・価格交渉の共通指標化(適正単価ガイドライン)

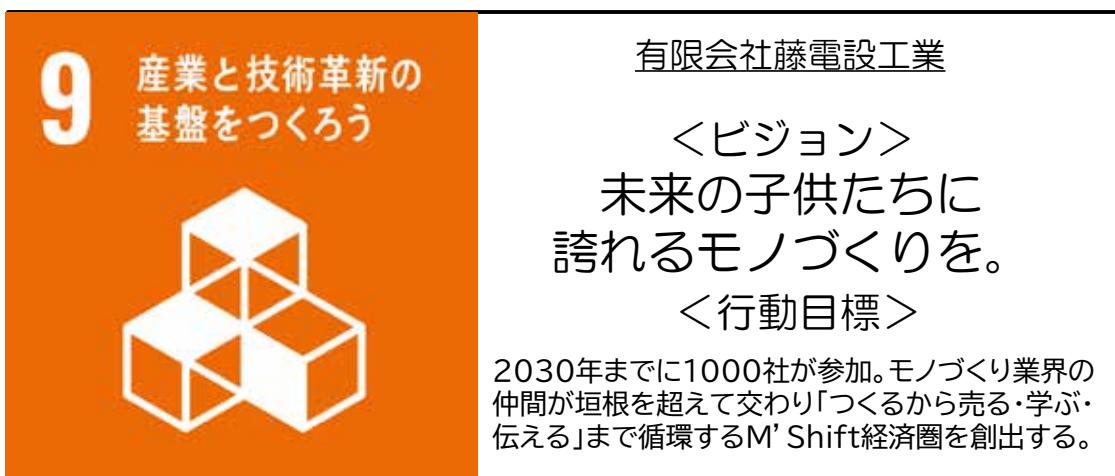
「継承問題」

- ・手順の映像化・標準化(誰でも分かる作業設計)
- ・若手のローテ & 評価(習熟度の数値化)
- ・ナレッジのライブラリ化(検索性・更新)

<今後の展開>

- 1.「変わりたい」人たちが支え合う仕組みを構築。
- 2.SNS・動画メディアを活用し、全国の町工場・経営者・技術者をつなぐ。
- 3.「100 人インタビュー」企画を通じてリアルな現場の声を発信。

<SDGs9番推進宣言>



＜以下、参考資料＞

■代表取締役:高橋 翼 たかはし つばさ



1970 年の創業以来、配電盤や電気設備関連の板金製品製造を主軸に事業を展開。創業社長の人脈を通じ炭酸ディスペンサーや通信機器メーカーとの取引を開始し、量産加工機の導入で大型配電ボックスの量産体制を確立。その後、溶接を中心とした精密板金加工に注力し、特殊工程管理や品質保証体制を整備。現在も「モノづくりを通して人々の笑顔と仲間の輪を造る」を理念に、協業・共創を通じて日本のモノづくりの未来に挑戦している。

■事業概要

名称	共創型プロジェクト「M' Shift(エム・シフト)」
特徴	全国のモノづくり業界(町工場)の仲間が垣根を超えて交わり、ヒト・コスト・継承問題から事業における①売る・②学ぶ・③伝えるに関して情報を共有する場(コミュニティ)の提供
開始日	令和8年2月3日(火) ※一粒万倍日
参加形態	オンライン・オフライン
費用	¥ 20,000(税別)(月額コミュニティ制) (サービス無料体験は 2026 年 1 月中旬予定)。

＜資料についてのお問合せ先＞

有限会社藤電設工業 広報担当:周東 拓弥(しゅうとう たくや)

TEL:042-343-1500 FAX:042-343-1502

E-Mail:fuji@fuji-den.com

HP:<https://fuji-den.com/>

住所:〒187-0011 東京都小平市鈴木町 1 丁目 144-7

レコード専用収納 SSS(トリプルエス)BOX シリーズにインテリア性の高い新色を追加

「SSSオールホワイト」12/4(木)新発売

EP サイズ(7インチ)と LP サイズ(12インチ)と2種類を同時発売致します



■SSS オールホワイト(7インチレコード用) ■SSS オールホワイト(12 インチレコード用)

1.【自社の強み】

東京都三鷹市のクマセイサク合同会社(代表:熊 敏孝 くま としたか)は、2022年より音楽ソフトに特化した小型収納家具の製造・販売を手掛けています。「音楽のある暮らしをもっと豊かに」というコンセプトのもと、同社はレコード収納家具およびジャケットディスプレイとしての新しい価値を提供する「SSS ボックス(トリプルエスボックス)」を展開しており、7 インチ・12 インチサイズのアナログレコードを美しく収納できるボックスです。天然木、プラスチック、高強度紙+樹脂など複数の素材モデルを用意しています。私自身がレコードコレクターであり、レコード愛好家や選曲家、DJ など幅広い人脈を持つことから、実際のユーザー視点に立った利便性や機能性を追求しています。こうした経験と知見を活かし、レコードライフをより豊かにする専用収納として「SSS ボックス」を開発・販売しています。

2.【世の中の課題と新たな取組み】

近年、アナログレコードは世界的に人気が再燃しており、デジタル配信が主流となつた現在でも、その音の質感や所有する楽しさが幅広い世代に再評価されています。

日本でもこの流れは明確で、日本レコード協会の統計では、2024 年のアナログレコード生産金額が 78.8 億円 と“1989 年以来の 70 億円超え”を記録し、生産枚数も 300 万枚超 へと大きく伸びています。数字の上でも国内市場が再活性化していることが分かります。

さらに注目されるのは、かつてのオールドファン中心の市場から変化し、若年層や女性層など、これまでレコードと縁の薄かった層が新たな支持層として広がっている点です。“触れて楽しむ音楽体験”としてのレコードの魅力がデジタル時代において再評価されています。単なる“懐古アイテム”ではなく、現代の音楽体験を楽しむための選択肢として再び存在感を強めていると言えます。

実際に、新譜としてアナログ盤が制作される例も増えており、2024 年には年間 900 タイトル に達するなど、アーティスト側の取り組みも活発化しています。

SSS ボックスシリーズでは、これまで10種類の製品を発売してきましたが、アナログレコード購買層の若者や女性への広がりを受けて、これまで以上にインテリア性に特化した、シンプルでスタイリッシュな白(ホワイト)で全面を設えた「SSSオールホワイト」を12月4日(木)から発売致します。

(参考:日本レコード協会「2024 年 音楽ソフト生産統計」、nippon.com「好調アナログレコード生産」)

3.【顧客ターゲット】「音楽好きな20代～50代の男女」

詳細⇒既に多くのレコードを所有するレコードコレクターや DJ のオールドファンの方から、レコードに興味を持ち始めたビギナーの方まで、幅広い層の方をターゲットとしており、既にラインアップ済の商品も幅広い層のレコードラバーの方々にご愛顧いただいています。

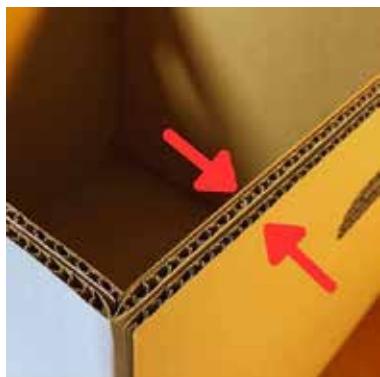
4.【コンセプト】「新規性」×「製品」

詳細⇒「SSS ボックス」シリーズは、ただレコードを収納するだけでなく、「機能性」「利便性」「意匠性」にこだわって開発した商品です。

・商品特長①

「Strong」で「Stakable」

木製、プラスチックダンボール、紙ダンボールとも高強度な構造で大切なレコードを守ります。積み重ねも可能で機能的に収納できます。



・商品特長②

「Simple」で「Stylish」

厳選した素材と色柄で、どんな空間にもすっと馴染むデザイン。インテリアとしても存在感を発揮します。この度発売する「SSS オールホワイト」は、この特長を更に推し進めるラインアップです。





・商品特長③

「Specialized」だから「Sizable」

レコード収納専用に設計されており、サイズ感はまさにぴったり。日常的に使う場面でも扱いやすく、快適にコレクションを楽しむことができます。



SSS ボックスは、レコード愛好家の方にもビギナーの方にも、とにかく沢山機能的に収納したい方にも、大切な数枚を大事に収納したい方にも、多くの音楽、レコード愛好家のニーズを集約させた商品シリーズです

<以下、参考資料>

■代表社員:熊 敏孝(くま としたか)

・1975年生まれ 50歳

・20年の建築、インテリアメーカーの商品開発、商品企画を経験

・2022年 レコード収集の趣味とメーカーでの商品開発・企画の経験を活かしクマセイサク合同会社を設立

■事業概要

名称	アナログレコード専用収納「SSS ボックス」シリーズの中でよりインテリア性に特化した「SSS オールホワイト」
特徴	アナログレコード収納の全く新しいスタンダード 3つの「S」を取り入れたレコードラバーの為の収納 BOX
発売日	2025年12月4日(木)
素材	BOX 部分 :多重構造紙ダンボール フレーム、接合部品:ABS樹脂
販売方法	オンラインショップ(自社サイト) URL: https://kuma-seisaku.com/
価格(税込)	オールホワイト(7インチレコード用) :¥ 2,700~ オールホワイト(12インチレコード用):¥ 2,900~

<資料についてのお問合せ先>

クマセイサク合同会社 広報担当:熊 敏孝(くま としたか)

TEL:0422-57-2068

E-Mail:info@kuma-seisaku.com

HP:<https://kuma-seisaku.com/>

住所:東京都三鷹市中原2-6-12

IT を DIY 感覚で自作の IoT システムを創ることが可能
日本語入力プラットホーム「IW-Station」全国展開へ
「情報部品 SEED」を組み合わせるだけで、誰もがやりたいことができる

■プラットフォーム IW-Station(利用イメージ)



1.【自社の強み】

東京都三鷹市で2007年から、ソフトウェア開発製造販売・音声音楽コンテンツ制作の会社を経営している、株式会社インテリジェンス・ワークス(代表:荒木 貴代美 あらき きよみ)と申します。弊社はJR三鷹駅から徒歩5分の場所にあり、「ITシステムのDIY化市場を情報部品を通じて創造する」という理念のもと、自社開

発の「電腦地蔵®」シリーズを中心に、ソフトウェアやハードウェアの開発・製造・卸販売を行い、特許技術を活用した「電腦地蔵エントランスシステム一期一会®」や「電腦ドア®」などを提供しております。

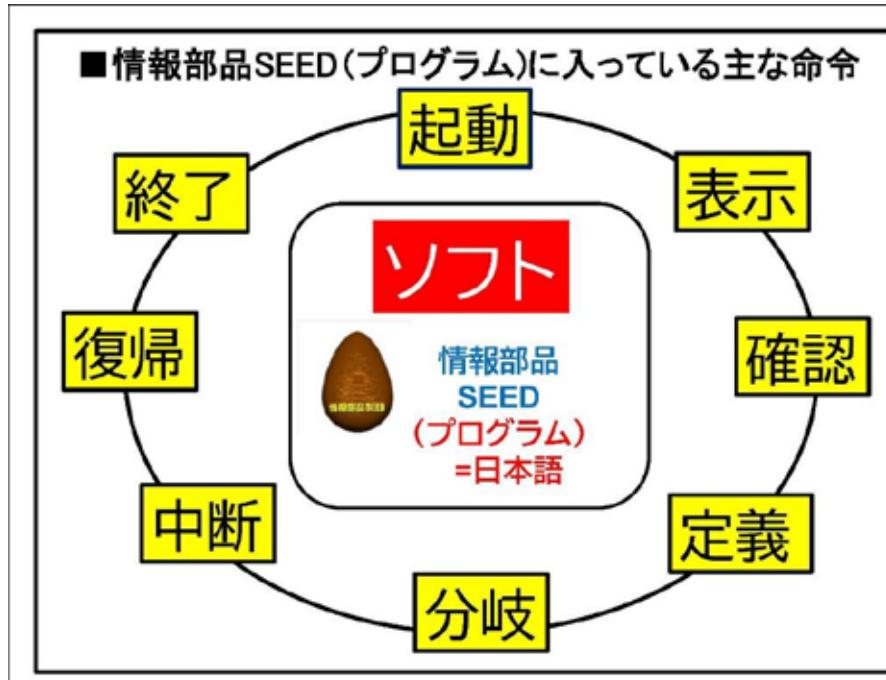
2.【世の中の課題と新たな取組み】

中小企業(特に小企業)に各社 1~数名の IT 人材がいれば、という思いから日本の IT 人材不足・中小企業の外注依存をなくし「中小企業が自力で DX 化できるようにし社員の潜在能力を引き出していく」とう理念のもと、誰もが気軽にプログラミングが楽しめるようになれるように、日本語入力プラットホーム「IW-Station」を開発、この度全国展開に向けて、再度、ブランディングを見直し、本日、改めて事業について発表させて頂きます。

まず、「IW-Station」を活用してできることは

- ① ドアを空けるとパソコンが立ち上がり、照明がつき、メールを読み上げる。
 - ② 店舗や施設で来客に音声で挨拶し、防犯情報や地域イベント、製品を案内する。
 - ③ 高齢者や子供、地域の見守りで何か変化があればすぐに音や通知を出す。
- などの動作を専門知識がなくても「情報部品SEED」というプログラムの情報を組み合わせていくだけで、誰もがやりたいことをすぐに形にできます。

「情報部品SEED」とは



⇒動画をご覧下さい。

3.【顧客ターゲット】

全国の中小企業、個人事業主、プログラミング学習者・中上級者の方

4.【コンセプト】「面白い」×「製品(プラットホーム)」

詳細⇒日本語でプログラミングできるため、専門家でなくても気軽に楽しく作成・学習にも役に立ちます。

■電腦地蔵のホームページ(リニューアル)



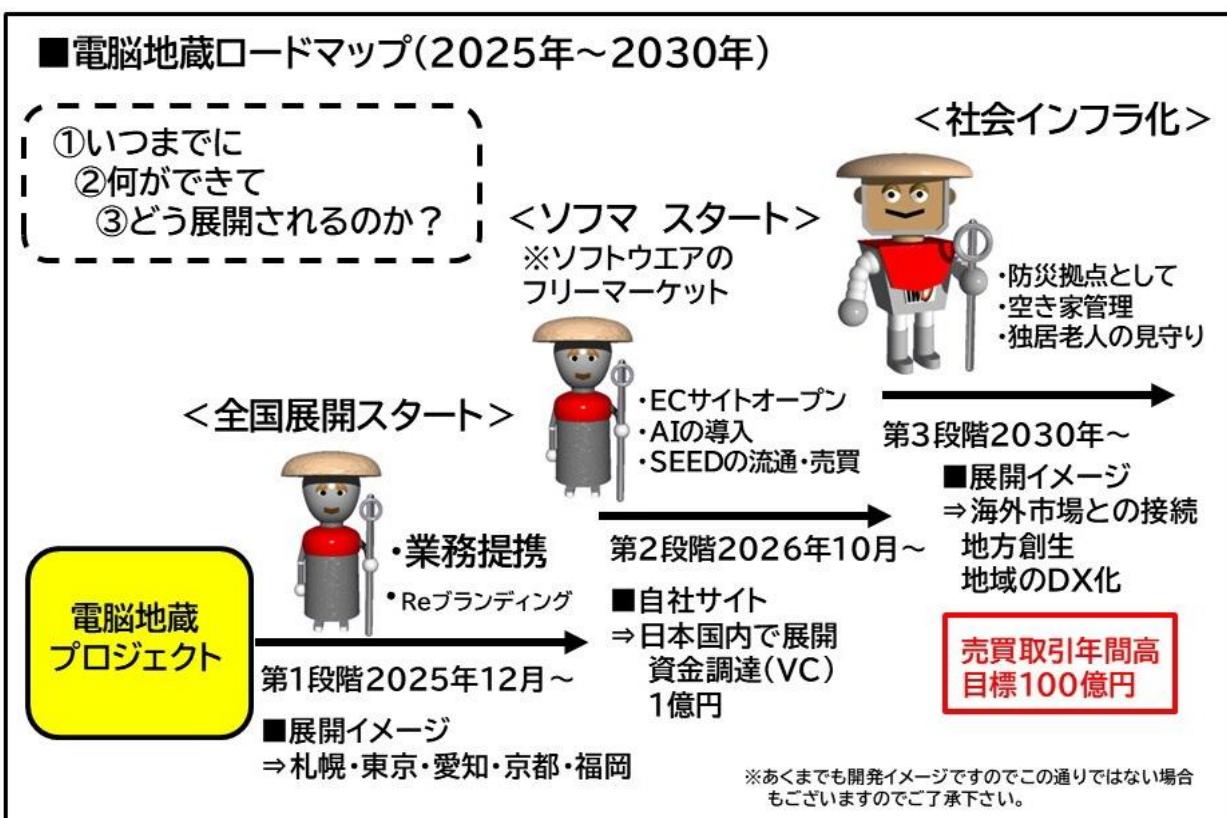
5.【開発ロードマップ】

⇒全国展開に向けての戦略

・新規動画、HP のリニューアル、パンフレット、チラシを作成

・異業種交流会(11月、12月)

・札幌、東京、愛知、京都、福岡で業務提携に向けて営業開始



<以下、参考資料>

■代表者 荒木貴代美



- ・2007年 10月創業(西東京・資本金 100 万円)
「電腦地蔵」の元である「IW-Station」開発
- ・2009年 資本金 1,000 万円に増資
- ・2011年 本社を板橋区に移転
- ・2014年 三鷹支店設立「電腦地蔵」商標登録
- ・2018年 「プラットフォーム電腦地蔵」特許取得
- ・2023年 三鷹支店を三鷹本社とし板橋区から移転

■その他（特許・表彰など）

- ・Made in Local「多摩地域を代表する企業100選」に選出（2025年9月）
- ・特許 6490780「情報部品実行装置、及び情報部品実行方法」
- ・特許 6688524「ドア装置」・商標 5294569「IW-STATION」
- ・商標 5736284「電腦地蔵」・商標 5932807「電腦地蔵エントランスシステム一期一会」・商標 6065893「情報部品」・商標 6267986「情報部品 SEED」
- ・商標 6415436「電腦ドア」・商標 6804601「ソフマ」

■製品概要

製品名	日本語入力プラットホーム「IW-Station」全国展開へ
特徴	自作のプログラム「情報部品 SEED」を売買できるサイト
開始日	2025年12月3日（水）
販売先	自社ホームページ
費用	電腦地蔵 1 アカウント¥ 9,900（税込）

＜資料についてのお問合せ先＞

株式会社インテリジェンス・ワークス広報担当：荒木貴代美

電話：0422-45-5564

E-Mail：info@intelligenceworks.co.jp

HP アドレス：<https://www.intelligenceworks.co.jp>

住所 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-32-12-101

【特許取得】無人航空機による点検情報提供システム
「UAVによる点検情報提供システム」(フライ特仕様)

車載型ドローン基地として複数で映像共有する作業空間を提供



■ UAVによる点検情報提供システム(フライ特仕様)

1.【自社の強み】

東京都小金井市で令和2年からドローン事業を経営している株式会社フライ特(代表:丹澤 純 たんざわ じゅん)と申します。当社はこれまで、弊社の保有技術としてドローンの情報共有に関する特許取得およびNETIS登録(国土交通省新技術情報提供システム)をしています。本技術を活用して、撮影業務、測量業務を行い、現場での映像共有や映像確認および測量作業の解析業務を行っております。また、小金井市とは災害協定を締結し、本技術を、「小金井市総合水防訓練」・「小金井市

「総合防災訓練」にて訓練し、有事の際に活用することを前提にしています。また、2004年には新潟市内で新潟県中越地震を経験し、当時勤務していた会社（建設会社）として被災状況確認から災害復旧に従事しました。当時は、飛行機・ヘリコプター以外で上空から状況を確認するツールがありませんでした。近年になりドローンが一般的なツールとなり空撮情報を入手することが可能となったため、ドローンを活用した情報共有が必要になると考え、「無人航空機による点検情報提供システム」の特許を取得しました。現在、全国で建設業者を中心として8社に弊社の技術を提供（特許実施許諾契約）しております。

2.【世の中の課題と新たな取組み】

地震などの災害等が発生した場合、関係者（行政・警察・救急隊など）が、状況を確認する際に、現地になかなか行けず的確な指示が出せない場合があります。そこで本技術は、ドローンのリアルタイムの映像を遠隔地で打合せを行いながら撮影することが可能であり、関係者が現場に行く必要がないため、業務の省力化が図れます。災害時以外でも、工事現場や建物や施設の点検時にも車載型ドローン基地として活用することで、コストおよび時間の節約にもつながります。この度は、「UAVによる点検情報提供システム」を“フライト仕様”と命名しサービスを提供していきます。

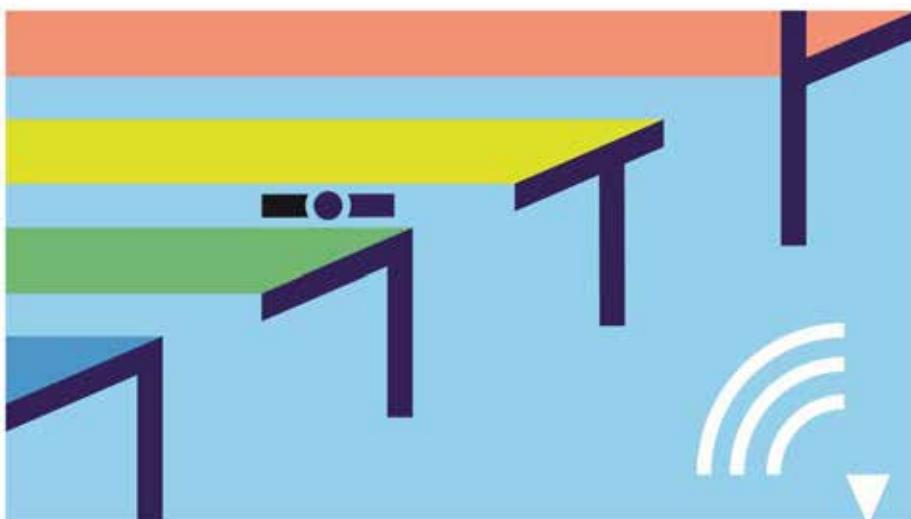
3.【顧客ターゲット】「ドローンを所有して業務で活用している企業」

詳細⇒「建設関係」「国」「地方公共団体」「マスコミ関係」「映像制作会社」等

4.【コンセプト】「価値」×「技術」（フライト仕様）

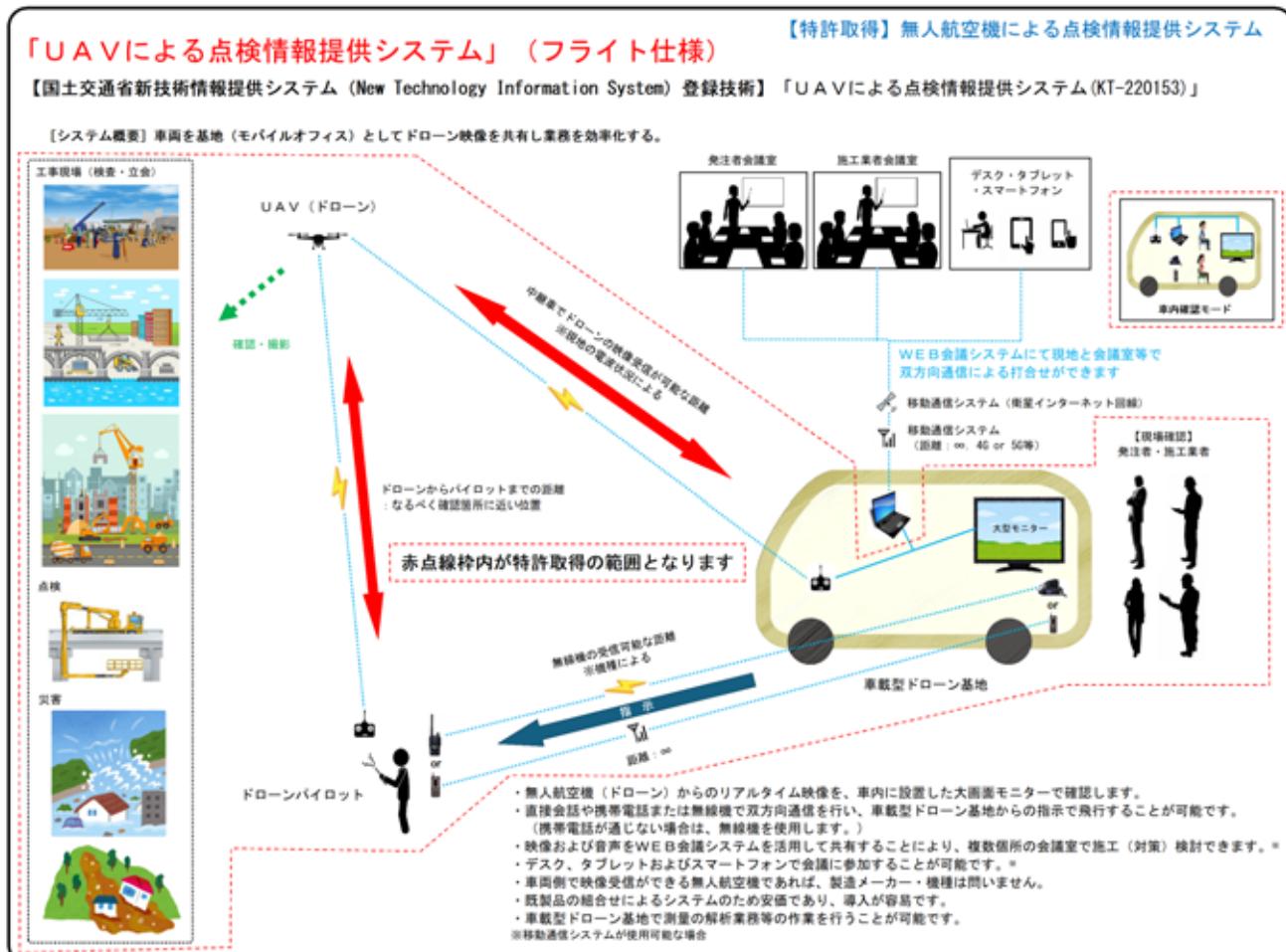
詳細⇒このシステムを導入することをフライト仕様と申します。

（フライト仕様のロゴ）



項目	一般的なドローン撮影	車載型ドローン基地(フライト仕様)
必要な機材	ドローンのみ	ドローン・車両・機材
ドローンの種類	パイロットのみ受信	パイロットと車両側で受信
確認方法	コントローラー画面で確認	大型モニターで複数で確認
現場での作業	撮影のみ	その場で解析など可能
利便性	★★★	★★★★★
特許実施許諾	不要	必要
費用	初期投資	初期投資 + 月額5万円(税別)

5.【リリースのポイント】事業概要図



※今後の目標として、全国展開にあたり各都道府県に1社の業務提携を図っていきたいと考えています。

＜参考資料＞

■代表者 丹澤 純(たんざわ じゅん)



- ・1990年(平成2年) 4月 大手ゼネコン入社
- ・2014年(平成26年)4月 建設コンサルタント入社
- ・2020年(令和2年) 4月 設立
- ・2020年(令和2年) 10月 特許取得
- ・2021年(令和3年) 3月 小金井市と災害協定「災害時における無人航空機を活用した技術提供及び支援活動等に関する協定書」締結
- ・2021年(令和3年) 12月 NETIS 登録

■その他 (特許など)

- ・「無人航空機による点検情報提供システム」(特許第6772357号)
- ・「UAVによる点検情報提供システム」(NETIS 登録:KT-220153)

※NETIS:国土交通省 新技術情報提供システム

(New Technology Information System)

■製品概要

製品名	UAV による点検情報提供システム(フライト仕様)
特徴	車載型ドローン基地として複数で映像共有する作業空間を提供
発売日	令和2年10月2日(金) 特許登録日
販売先	全国 建設業者、国、地方公共団体 およびマスコミ・映像制作会社等
費用	¥ 50,000円/月・台(税別)

＜資料についてのお問合せ先＞

株式会社フライト

広報担当:丹澤 純

電話 : 042-401-2161(携帯070-5089-8460)

FAX : 042-401-2183

E-Mail : j.tanzawa_flight@nifty.com

HP アドレス : <https://flight-drone-jp.com>

〒184-0011 東京都小金井市東町一丁目8番21号パーク・サイド・ビル102

図面ゼロ、設計から製作まで一貫対応の金属加工サービス

「設計と加工の一括窓口」12月3日(水)スタート

設計・加工の現場を熟知した職人が構想段階から提案します！



■部品加工用治具

設計と加工の
一括窓口



■設計と加工の一括窓口(ロゴイメージ)

1.【自社の強み】

小金井市に工場を構える山城製作所(技術営業:山城 裕路 やましろ ひろみち)と申します。当社は1974年1月に創業し、金属ブロックを削って形にする機械加工(フライス加工)を軸に、精密金属加工業を営んでおります。自動車関連部品や産業機械関連部品の受注生産、鉄・アルミ・ステンレスを中心とした高精度の切削加工品を製作し、提供しています。弊社の場合、現場経験のあるものが設計を担当しており、設計担当者が常時機械加工担当者(職人)とコミュニケーションを取れる状態を維持しています。そのため、設計をする前の段階から、実際に製品として加工できるかどうか、どの程度の加工コストになるのかがわかります。お客様は打ち合わせの段階から設計コスト、加工コストどちらもある程度把握しながら製作のイメージを持つことができます。

2.【世の中の課題と新たな取組み】

従来、金属部品の設計はメーカーと設計専門企業が分離していました。そこで当社では、図面ゼロ、設計から製作まで一貫対応の金属加工サービスを「設計と加工の一括窓口」と命名し、設計・加工の現場を熟知した職人が構想段階から提案します。このサービスは12月3日(水)からスタート致します。

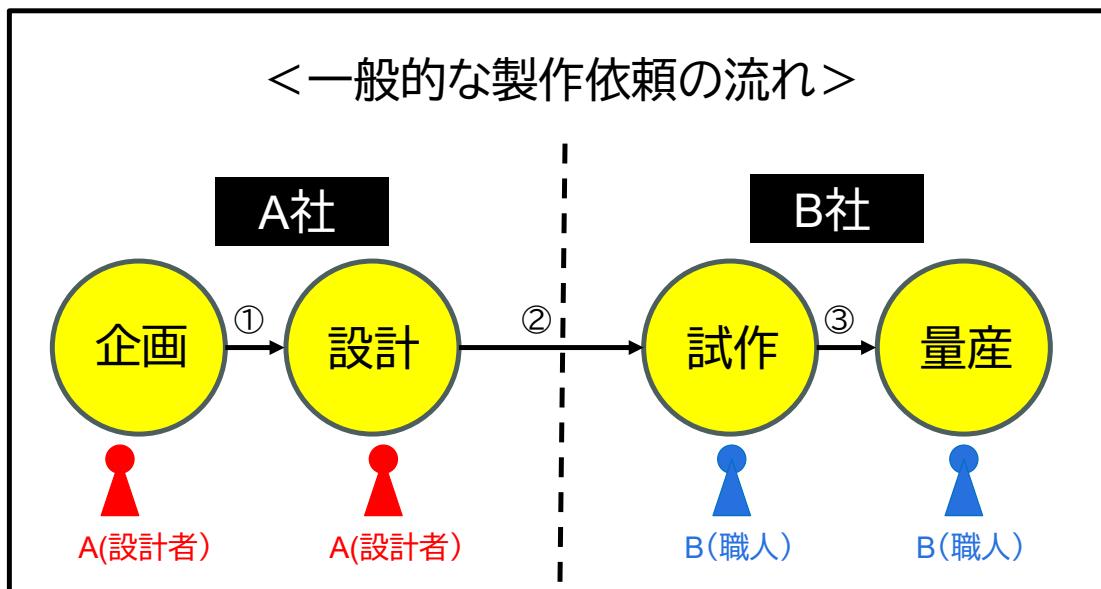
3.【顧客ターゲット】

⇒全国のメーカーの研究部門、大学等の研究機関で金属部品や治具等の製作・試作で困っている方

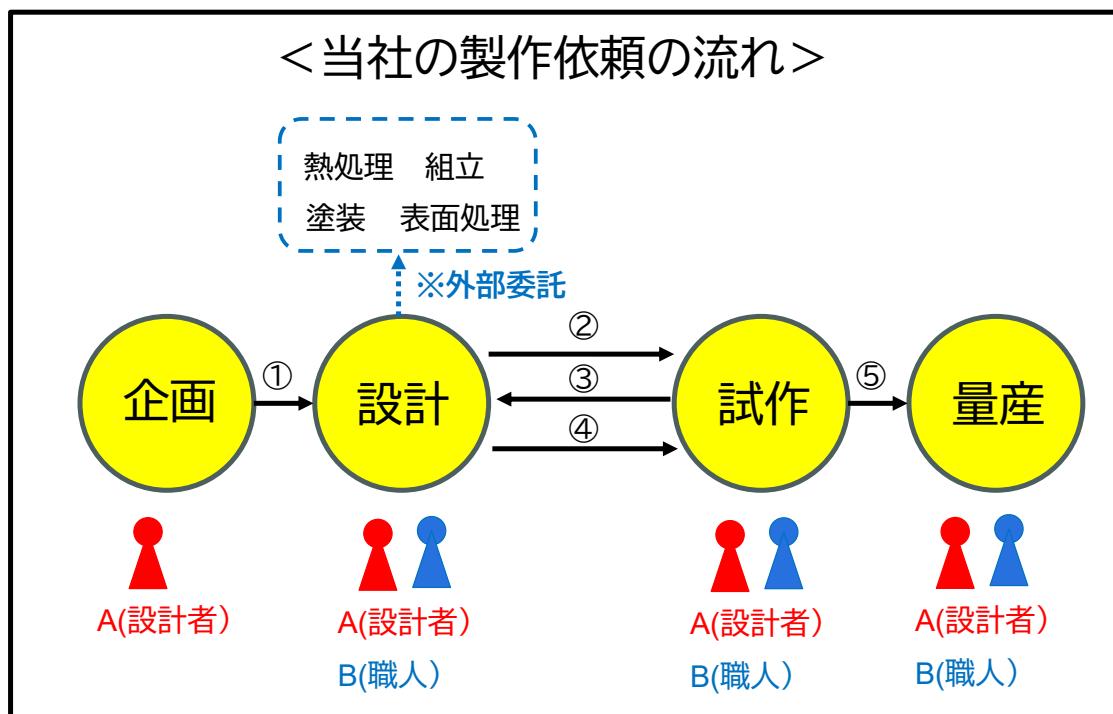
4.【コンセプト】「価値」×「技術」

⇒図面が描けず欲しいものが作れなくて困っている方が、イメージを伝えるだけで製作まで対応するサービス

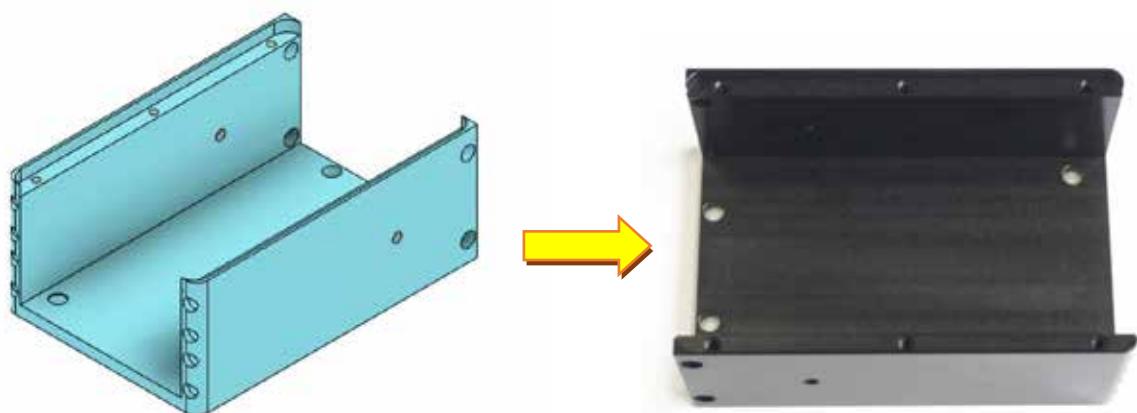
5.【リリースのポイント】事業概要図



■新サービス「設計と加工の一括窓口」(⇒30秒動画)



メリット	
クライアント様	①納期短縮につながる
	②コスト削減
	③一括で依頼可能(利便性の向上)
当社	①適正価格での受注
	②一括受注による利益率向上
	③リピート率の向上



<お客様のご要望を踏まえた設計図>

<加工後の製品>

<以下、参考資料>

■代表者 山城公彦

- ・1974年1月 山城 秀起(父)が創業
- ・2012年4月 山城 裕路が参画
- ・2019年4月 山城 公彦が参画
- ・2021年1月 山城 公彦が事業承継

■その他（特許・表彰など）

- ・経営革新計画認定 2016年

■サービス概要

製品名	「設計と加工の一括窓口」
特徴	図面ゼロ、設計から製作まで一貫対応の金属加工サービス
開始日	令和 7 年 12 月 3 日(水)
リリース先	ウェブサイトにて公開

<資料についてのお問合せ先>

山城製作所 広報担当: 山城 裕路

電話: 0422-32-6631 FAX: 0422-32-3260

E-Mail: info@yamashiross.jp

HP アドレス: <https://yamashiross.jp>

住所 〒184-0011 東京都小金井市東町 2-10-5

ダンボールで広がる夢と創造の世界、触れて、組んで、驚きの体験を！

「ダンボール夢の研究所」1月23日(金)開設

産学連携を推進し、ダンボールの魅力を体験できるイベントを開催



■ダンボール夢の研究所(ロゴイメージ)

■ダンボール機関車とキャットボール

1.【自社の強み】

東京都小金井市に本社を構える渡辺紙器工業株式会社

(代表:渡邊 恭秀 わたなべ たかひで)と申します。

当社は 1953年に創業された老舗のダンボール製造業者で長年にわたり、ダンボールの設計・製造・加工を手がけ、特に釣り具・ゴルフ・スポーツ用品、農機具、建材、美容機器、食品、医療器具などの製品に適した高品質なダンボールケース・パッキンを提供しています。また、顧客の多様なニーズに応えるため、デザイン性や機能性を重視した製品開発に取り組んでいます。また、環境への配慮から、リサイクル可能な素材の使用や省資源化を進め、同時に製造工程の効率化と品質向上を目指し、最新の設備と技術を導入しています。これにより、納期の短縮やコスト削減を実現し、顧客満足度の向上に努めています。

また、ダンボールを通じて地域社会との連携も大切にしており、地元のイベントへの参加や地域貢献活動を通じて、地域との絆を深めています。

2.【世の中の課題と新たな取組み】

近年、ダンボール業界は原材料費の高騰や人手不足、環境対応の課題に直面する中、効率化や新しい活用方法の模索が求められています。そこで当社ではダンボールの新たな可能性を広く知っていただくため、来年より「ダンボール夢の研究所」を立ち上げることを発表いたします。これは、産学連携を推進し、ダンボールの魅力を体験できるイベントを開催していく予定です。これにより、一般の方々にもダンボールの新たな使い方や創造的な活用事例を知っていただき、生活やビジネスの現場での活用を促進してまいります。今後は、教育機関や企業との連携を強化し、子どもから大人まで楽しみながら学べる企画を展開するとともに、環境に配慮した持続可能な素材としてのダンボールの価値を社会に広く発信していく所存です。来年1月23日(金)から本プロジェクトをスタートいたします。

3.【顧客ターゲット】「全国の子供と、その大人たち」

詳細⇒幼稚園～小学生・中学生および、その両親、および賛同して頂ける企業

4.【コンセプト】「面白い」×「プロジェクト(研究所)」

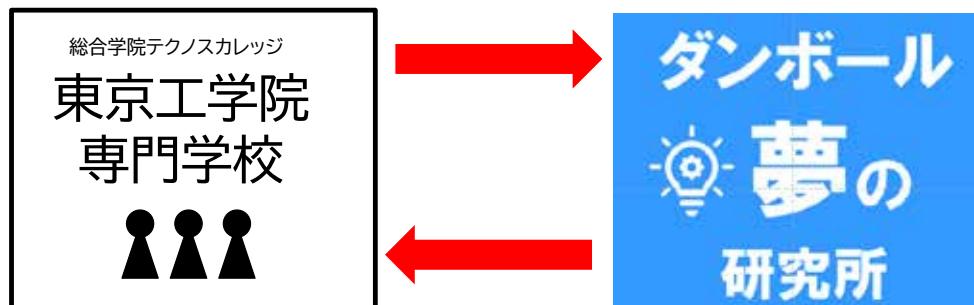
詳細⇒ダンボールで広がる夢と創造の世界、触れて、組んで、驚きの体験を！

産学連携を推進し、ダンボールの魅力を体験できるイベントを開催

5.【リリースのポイント】産学連携の取組み

■ダンボールを使ったおもちゃのデザイン案 (見本を4つサンプル製作)

①ダンボールシーソ(実用化)
②カギの掛かる本
③ボールゲーム ④ダンボールを固めたボール ※2025年9月



■ダンボールを素材としたおもちゃのデザインを依頼

(30デザイン⇒機関車商品化)2015年
(10デザイン⇒キャットボール商品化)2021年

東京工学院(総合学院テクノスカレッジ)校長の亀田様に、小金井市商工会を通じて依頼したところ、30点のデザインが集まり、一番人気の【ダンボールきかんしゃ】を製品化しました。4年前にも同様に依頼し、10点のデザインから【キャットボール】を製品化しています。この経験を基に、ダンボールの創造性と学びの可能性を広く伝える場として、今回「ダンボール夢の研究所」を立ち上げることとなりました。今後は、産学連携によるイベントやコンテストを通じて、誰もが楽しみながら段ボールの魅力を体験できる場を提供してまいります。

＜以下、参考資料＞



■代表者 渡邊 恭秀 わたなべ たかひで
・1953年 武蔵野市吉祥寺に設立
・1959年 小金井市前原町に移転
・1999年 商号を渡辺紙器工業有限会社から渡辺紙器工業
株式会社に変更
2025年 東京都産業労働局長 感謝状

■概要

名称	「ダンボール夢の研究所」
特徴	ダンボールで広がる夢と創造の世界、触れて、組んで、驚きの体験を！
開始日	令和8年1月23日(金)
販売中	ダンボール機関車・キャットボール 共に¥1,100-(税込)

＜資料についてのお問合せ先＞

〒184-0013 東京都小金井市前原町 4-11-8

渡辺紙器工業株式会社 広報担当:渡邊 恭秀

電話: 042-381-2045 (携帯 090-1761-9866)

FAX: 042-381-2072

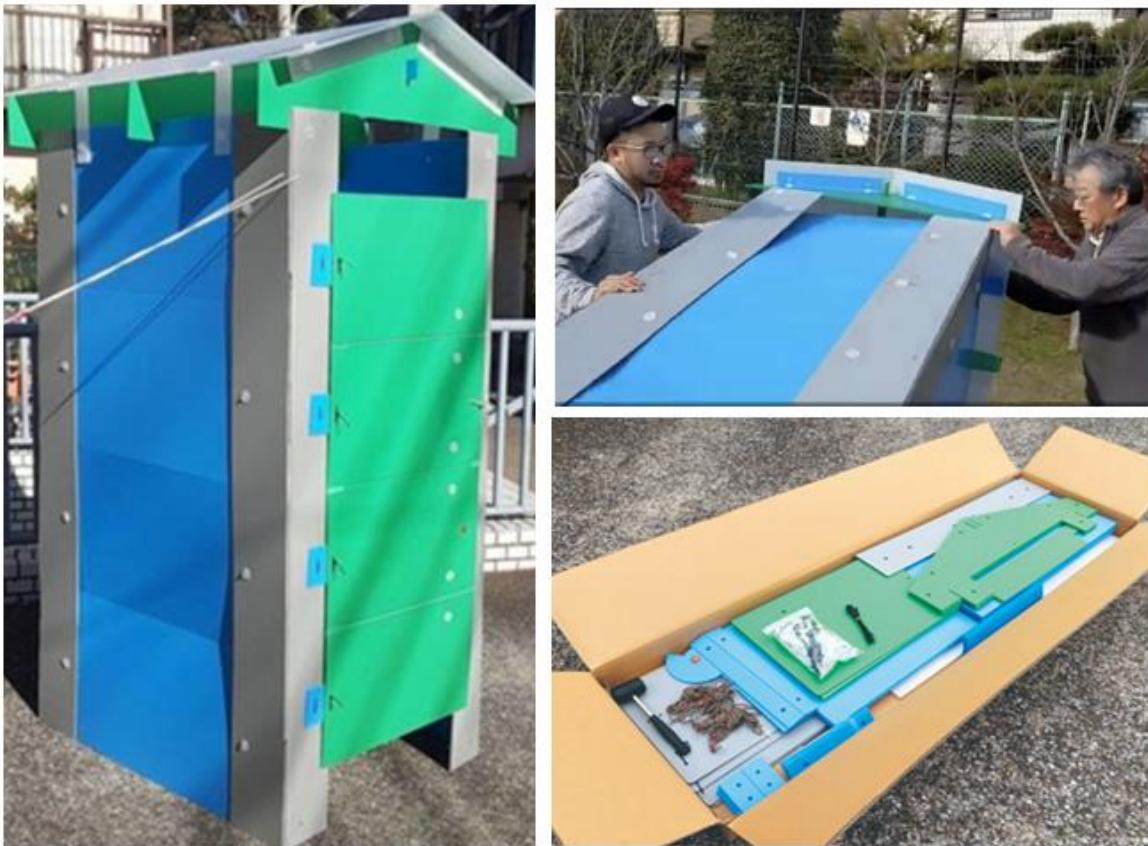
E-mail:siki-watanabe@gol.com

URL:<http://www.watanabe-siki.co.jp>

ジョイント T ロック機構を考案！2人で30分で組立完了

災害用簡易トイレ「プラダンハウス」(特許取得済)

学校や自治体の備蓄に最適、軽くて丈夫、長期保存も可能



1.【自社の強み】

東京都小金井市にある株式会社立川建築設計事務所(代表:立川 明 たちかわ あきら)と申します。当社は住宅、公共施設、工場、幼稚園など幅広い建築物の設計・監理を手がける建築設計事務所です。木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造など多様な構造形式に対応し、耐震性や省エネルギー性能、デザイン性を重視した設計提案を行っています。さらに、不動産コンサルティングや商品開発・販売にも取り組み、「多くの人々が望む商品を早く世に供給する」という理念のもと、地域社会のニーズに応える建築・サービスの提供を目指し、安心で快適な暮らしづくりに挑戦し続けております。

2.【世の中の課題と新たな取組み】

災害時におけるトイレ不足は、避難所生活で最も深刻な問題の一つです。例えば、東日本大震災では、避難所に仮設トイレが 3 日以内に届いたのは全体の 34%に過ぎず、到着まで 1 か月以上を要した地域もありました。また、水や電力の供給停止により水洗トイレが使用できなくなる場合もあり、衛生状態の悪化や感染症リスク、心理的負担の増大といった課題が長期間続くことがあります。こうした状況を解決するには、迅速に使用でき、かつプライバシーを確保できる簡易トイレの備蓄が不可欠です。

この課題に対応するため、当社では災害用簡易トイレ「プラダンハウス」(特許取得済)を開発しました。本製品は15.3キロと軽量・コンパクトで折りたたみ式プラスチックダンボール製のため、備蓄や輸送が容易です。スピーディーに組み立てる為、新たに留め具を考案いたしました。今回、その留め具を使って固定することを「ジョイント T ロック機構」と名付けました。この機構により、組立ても 2 人で約 30 分と簡単で、ほとんど工具を必要としません。耐久性に優れ、長期保存が可能な設計で、トイレとしてだけでなく着替えや簡易シャワーなど多目的に使用できます。災害発生直後からの使用に適しており、学校や自治体などでの備蓄にも最適です。本製品を通じて、災害時の安心・安全な環境づくりに貢献してまいります。

3.【顧客ターゲット】「市町村市役所 危機管理課等の防災対策担当」

さらに⇒公民館・避難施設管理者、規模の大きな集合住宅の管理担当、等含む

4.【コンセプト】「 価値 」×「 製品 」

つまり⇒ジョイント T ロック機構を考案！2人で30分で組立完了の製品

5.【リリースのポイント】プラダンハウスの特徴

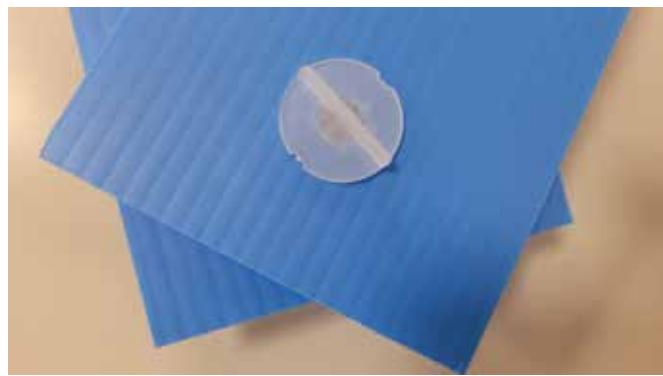
①軽量・コンパクトな収納性

折りたたみ式で、収納サイズは約 53cm×190cm×厚さ 13cm、重量は 15.3kg。プラスチックダンボール製のため、軽量で省スペースに備蓄可能です。

②組立てが簡単

組立てに必要な道具(ハンマー、ロープ、ペグなど)がすべて揃っており、工具不要で組立て可能。2 人で約 30 分程度で完成します。

③ジョイント T ロック機構



■ジョイント T ロック(通称:T ロック)

■ジョイント T ロック機構を使用

④高い耐久性

ほとんどのパーツは腐食しないプラスチック製やナイロン製を使用。金属部分も鋳びにくい設計で、長期間の保存が可能です。

⑤多目的に使用可能

トイレだけでなく、着替えや簡易シャワーなど、プライバシーを確保したい場面での使用が想定されています。

■他の簡易トイレとの違い

トイレ種類別特徴と使用時期

場所: 屋内外	種類	避難時 ～3h	～12h	～3日	～7日	～2週	1ヶ月	3月 以上	特徴(メリット)	デメリット
内	携帯トイレ	☆	☆	○	○	○	○		発生直後使用でき会社・自宅にて備蓄。	限定的対応。 汚物袋保管場所を要す。
内外	簡易式トイレ	☆	☆	○	○	○	○		貯留式も有、耐久性も有。	備蓄スペースが大きく必要。 貯留式以外は汚物袋保管場所を要す。
内外	仮設トイレ(組立式)	★	★	★	★	★	★		搬送・保管がし易く、備蓄に敵す。 多目的利用可。	組立作業を要す。 汚物袋保管場所を要す。
外	仮設トイレ					☆	☆	☆	照明・鍵付のものは女性に安心。	階段付の為、高齢者用は別に要。 和式が多い。
外	マンホールトイレ		○※	○※	○※	☆	☆	☆	通常のトイレに近い感覚の為、快適性が高い。	下水状況による影響有。
一	車載トイレ					○	○	○	自家用車用に装備している家族用として利用。	家族用
外	自己処理型トイレ (排泄物を生物分解)					○	○	○	準備は困難か。	高価であり、手配も運搬も簡単ではない。

○※ 下水道の被害状況により使用不可
☆ 主に使用 ○ 補助的に使用

＜参考資料＞

■代表者:立川 明



- ・S57年 3月 東京理科大学理工学部建築学科卒業
- ・S57年 4月 郡りーす株式会社 技術部設計室 入社
- ・S63年 4月 立川建築設計事務所 設立
- ・平成2年4月 法人化(株)立川建築設計事務所
- ・令和28年3月 プラダンハウス 特許出願
- ・令和2年6月 プラダンハウス 特許登録
- ・令和5年12月20日 販売開始

■特許番号:第6715661号(簡易トイレハウス) 災害用トイレ

■製品概要

製品名	災害用簡易トイレ「プラダンハウス」
特徴	ジョイントTロック機構を考案!2人で30分で組立完了
発売日	令和5年12月20日
販売先	ネット注文にて当社で販売 https://www.tachikawa-arc.com/
費用	¥ 88,000 (税込) 基本のキット1基 ※送料別

＜資料についてのお問合せ先＞

株式会社 立川建築設計事務所 広報担当: 立川 明
電話: 042-387-5901 (携帯 090-8944-0091) FAX: 387-5902
E-Mail: pla-dan@tachikawa-arc.com
HP アドレス <https://www.tachikawa-arc.com/>
住所 〒 184-0002 東京都小金井市梶野町 5-5-20

MEMO